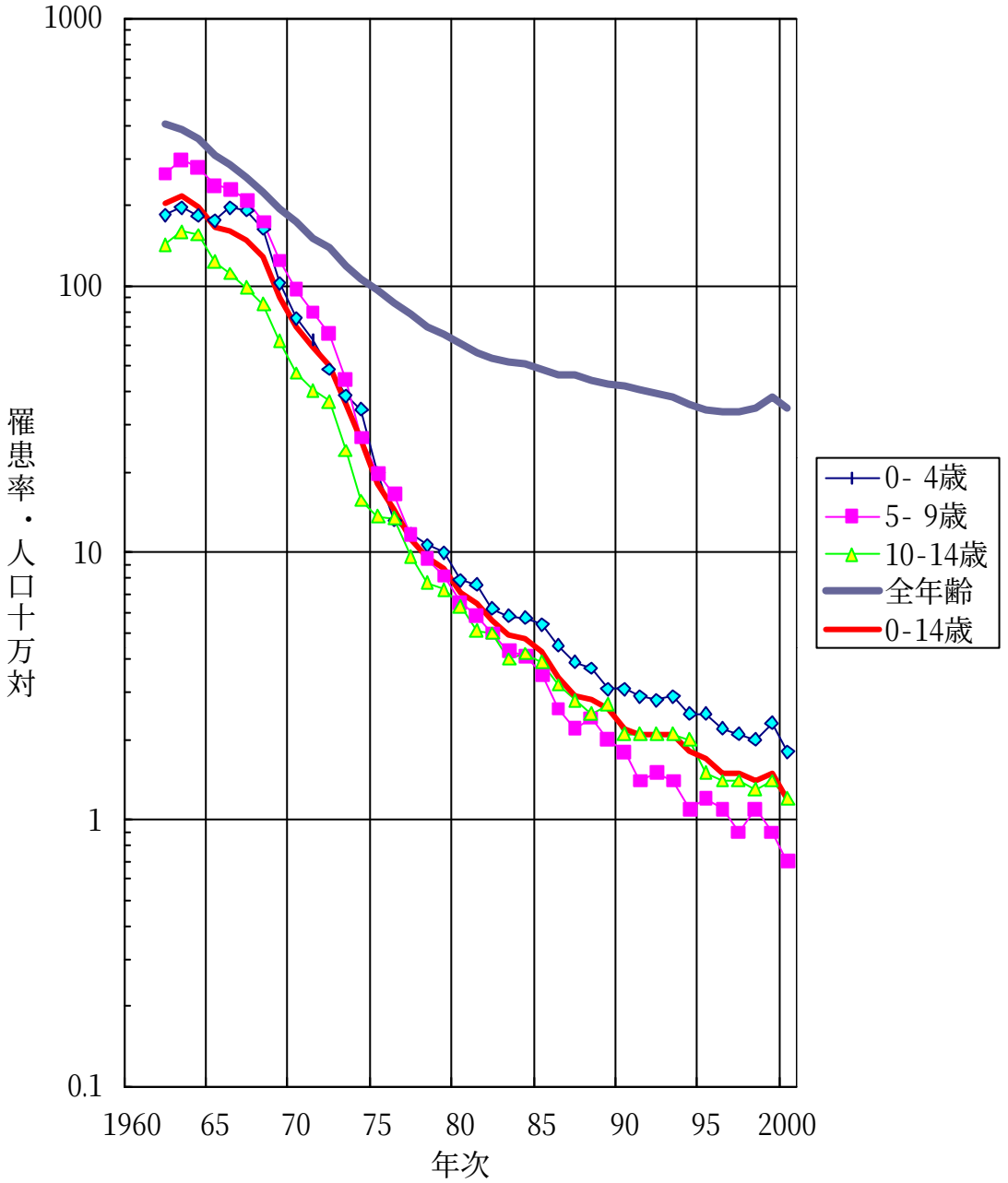
資料１.　小児結核罹患率の推移



結核研究所　森より

資料２．

乳幼児年齢別結核既感染率

年齢	既感染率
1 歳	0.05%
2 歳	0.09%
3 歳	0.14%
4 歳	0.19%
5 歳	0.25%

年間結核感染危険率

1951 年　：　2.59%
2000 年　：　0.05%

結核研究所　森より

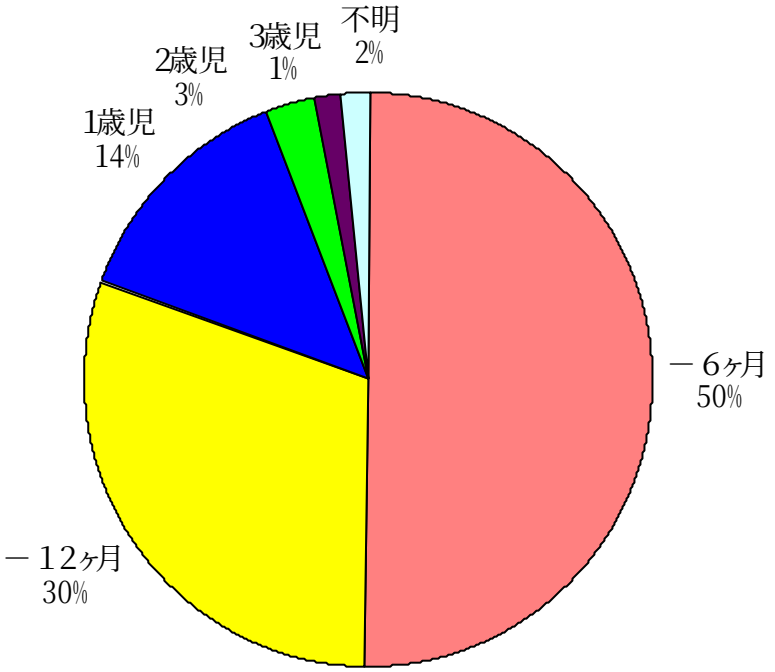
資料３．

乳幼児の患者の年齢別発見法

年齢（歳）	0	1	2	3	計
個別健康診断	2				2
学校健診					
住民健診	6	4	2	1	13
職場健診					
施設健診					
業態者健診					
家族健診	6	8	12	5	31
その他					
他集団健診		1		1	2
医療機関受診	13	14	5	7	39
その他	2				2
不明					
総数	29	27	19	14	89

住民健診受診者総数　1,188,078 人
マル初含まず。　発生動向調査 2000 年

資料４.　初回ツベルクリン反応検査の実施年齢分布（2000年）



平成 12 年度
結核緊急実態調査報告書より

資料５．生後６ヶ月以下の患者の発見方法

登録時月齢	患者分類コード	発見方法
0	肺結核菌陰性その他	医療機関受診
1	肺外結核	その他
2	肺結核その他菌陽性	医療機関受診
2	肺結核その他菌陽性	定期外家族
2	肺外結核	医療機関受診
4	肺結核その他菌陽性	定期外家族
4	肺結核その他菌陽性	医療機関受診
4	肺結核菌陰性その他	定期外家族
4	肺外結核	定期住民
5	肺結核菌陰性その他	定期外家族
5	肺外結核	個別健康診断
5	肺結核菌陰性その他	その他
5	肺結核菌陰性その他	定期住民
6	肺外結核	医療機関受診
6	肺外結核	医療機関受診

(2000 年)

結核研究所　森より

資料６．乳幼児の重症結核の特徴

表 14　病型別にみた発見動機

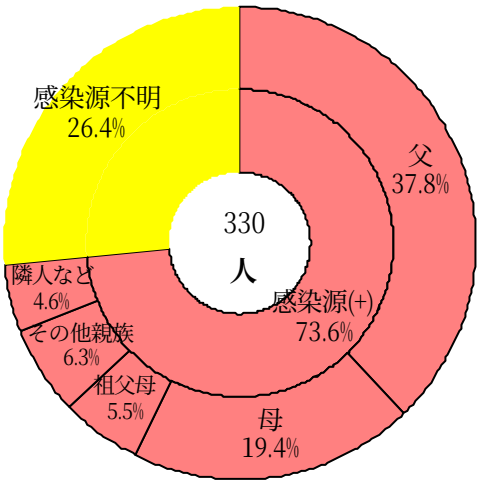
1985-92 年

病　　型	症 例 数	定 期 検 診	家 族 検 診	有症状受診
初期肺結核症	42	9	25	8
慢性肺結核症	25	5	6	14
結核性胸膜炎	12		3	9
結核性髄膜炎	7		1	6
粟粒結核	4			4
頸部リンパ節結核・骨関節結核	5	1		4
合　　計	95	15	35	45

資料：高松勇　小児結核　N0.8 1994.1
呼吸器疾患・結核　資料と展望

資料７．　接触者健診による発見

図２　結核患者感染源の内訳
1976～91年（330例）



資料：高松勇　小児結核　No.8 1994.1
呼吸器疾患・結核　　資料と展望

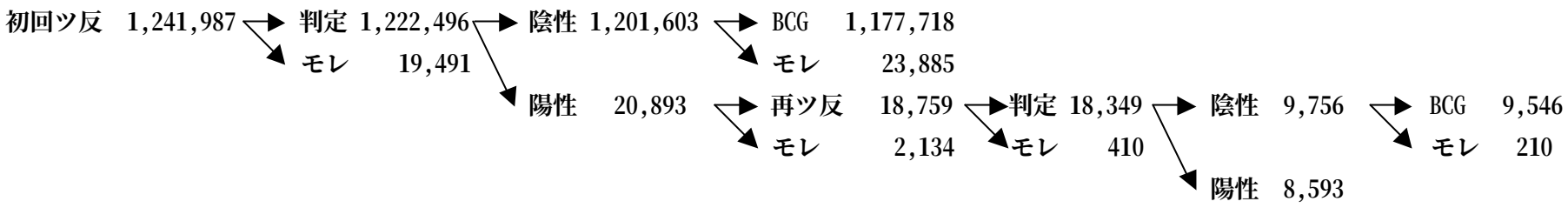
資料８．結核登録者における「ＢＣＧ接種歴なし」の割合（０～14 歳）

	０～４歳			５～９歳	10～14 歳
		０歳	１歳		
登　録　者　数	98	24	35	46	70
ＢＣＧ接種歴なし	50(51.0%)	21(87.5%)	17(48.6%)	10(21.7%)	2(2.9%)

平成 12 年度
結核緊急実態調査報告書より

資料９．

図.　初回ツ反および再ツ反の判定結果（平成 12 年度結核緊急実態調査）



初回ツ反陽性率：20,893／1,222,496＝0.01709（ 1.71%）

再ツ反陽性率　：　8,593／　18,349＝0.46831（46.83%）

初回ツ反：判定モレ　19,491

うち、推定ツ反陰性者数　19,491 ×（1－0.01709)＝<u>19,158</u>

初回ツ反陰性者に対する BCG 接種モレ：　<u>23,885</u>

初回ツベルクリン反応検査によって出現する　接種しない率：(19,158＋23,885）／1,241,987＝0.0347（<u>3.47%</u>）

再ツ反：検査実施モレ＋判定モレ　2,134＋410＝2,544

うち、推定ツ反陰性者数　2,544×（1－0.46831）＝<u>1,353</u>

再ツ反陰性者に対する BCG 接種モレ：　<u>210</u>

再ツベルクリン反応検査によって出現　接種しない率：(1,353＋210）／1,241,987＝0.0013（<u>0.13%</u>）

資料 10.

学校健診受診者数・罹患者数

	学校健診受診者数‡		学校健診にて発見された罹患者数‡‡		全体の罹患者数‡‡	
	小学 1 年	中学 1 年	小学 1 年	中学 1 年	小学 1 年	中学 1 年
1997 年	1,172,017 人	1,386,686 人	7 人	12 人	21 人	19 人
1998 年	1,185,482 人	1,350,206 人	4 人	14 人	18 人	29 人
1999 年	1,176,628 人	1,324,924 人	5 人	11 人	15 人	27 人
2000 年	1,168,047 人	1,284,698 人	4 人	13 人	10 人	21 人

出典　‡地域保健事業報告、‡‡結核発生動向調査年報より

資料 11.

中学 1 年生に行うツベルクリン反応検査の精度

対象者	ツベルクリン反応検査		10 万人当たりの強陽性者（人）	直接撮影者数
	被注射者数（人）	強陽性者（人）		
乳幼児	1,188,078	636	54	―
小学 1 年生	1,168,047	11,445	986	10,476
中学 1 年生	1,284,698	69,133	5,444	72,556

地域保健・老人保健事業報告（2000 年）

資料 12. 予防内服実施の地域格差

	マル初罹患率（人口 10 万対）
全国総数	7.24
北海道	6.62
青森県	10.37
岩手県	4.59
宮城県	3.51
秋田県	11.10
山形県	4.66
福島県	6.91
茨城県	5.33
栃木県	3.94
群馬県	4.35
埼玉県	9.89
千葉県	6.94
東京都	8.62
神奈川県	5.04
新潟県	3.92
富山県	3.12
石川県	4.15
福井県	2.65
山梨県	3.49
長野県	7.99
岐阜県	5.69
静岡県	6.21
愛知県	9.00
三重県	5.76
滋賀県	5.66

京都府	5.71
大阪府	11.57
兵庫県	9.73
奈良県	12.20
和歌山県	7.85
鳥取県	3.42
島根県	5.12
岡山県	8.51
広島県	6.46
山口県	6.54
徳島県	4.98
香川県	6.84
愛媛県	5.49
高知県	6.51
福岡県	10.17
佐賀県	5.13
長崎県	3.36
熊本県	4.79
大分県	4.59
宮崎県	3.50
鹿児島県	4.31
沖縄県	8.12

結核の統計　2001 年